

AYAKO UEHARA

上原 彩子

Piano Recital
ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン

シューマン

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調 op.31-2 「テンペスト」

シューマン: 「幻想曲」 ハ長調 op.17

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第7番 ニ長調 op.10-3

シューマン: 「謝肉祭」 op.9

2024 11/4 (月・振休) 14:00 開演 (13:00 開場)
全席指定 5,000円 (税込)

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 56704]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 265-488]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

上原 彩子

ピアノ・リサイタル

「小柄なのに、どうしてあれほど豊かな響きが出せるのかしら」「まるで作曲家が乗り移ったみたいなお迫真の演奏だったわ」。上原彩子のデビュー当時、コンサートで居合わせた若い女性たちが彼女の演奏に感嘆していたのが、昨日のことのように思い出される。2022年にデビュー20周年を迎え、その演奏にますます磨きがかかっている上原。すでに関西のファンにもおなじみの名ピアニストが、11月4日、ベートーヴェンとシューマンという王道プログラムで、リサイタルを開催する。ベートーヴェンは楽器の可能性を探究し、その名作ソナタの数々で表現した。上原が取り上げるのは、「テンペスト」の異名で知られる第17番とソナタ第7番。そしてファンタスティックなピアニズムで新境地を開いたシューマンの作品から、2曲。小品が連なり、あざやかな小宇宙を築いている「謝肉祭」とロマン派独自の世界を描き出した「幻想曲」。どちらもエスプリあふれる名曲で、上原の手腕に期待したい。

伊藤制子

Message

今年のリサイタルは、「幻想とユーモア」の奥に広がる深遠な世界。

今、私が集中的に取り組んでいるベートーヴェンと、大好きなシューマンを通して、前半はどこまでも無限に続く幻想的な空間、後半は、ドイツ的なユーモアいっぱいのウィットに富んだ時間をお届けします。そしてそこには、まるで矛盾するかの様に重く深く暗い世界、無に繋がっていく様な世界が共存しています。

プログラムを聴き終わった時に、お客さまにどの様な印象が残るのだろうかというのが、とても興味深く、楽しみです。今年も、ザ・シンフォニーホールでお待ちしています！

上原彩子



©武藤章

[ピアノ] 上原彩子 Ayako Uehara, Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初の第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外で演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイージ、ラザレフ、ブラビンス、ベトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤」4枚がリリースされている。東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター 准教授。

オフィシャル・ホームページ:

<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>